

スマホをかざして 動画で観光

ARサービス期間
3月1日(日)~5月31日(日)

高岡の宝を世界の宝に

近世高岡の 文化遺産

重要文化財 勝興寺

越中の真宗寺院や門徒をまとめていた浄土真宗の寺院。戦国時代には、一向一揆の中心となりました。壮大な本堂など、中世の城郭寺院の姿を残しています。(改修中。本堂の参拝ができます。)“勝興寺の七不思議”は有名。



国史跡 高岡古城公園 (高岡城跡)

前田利長公が築いた高岡城は、一國一城令で廃城となりました。しかし、水濠や土塁は残り、明治時代の払い下げの危機を市民の力で乗りこえ、公園となりました。豊かに水をたたえる広大な水濠公園です。



金屋町 (千本格子の家並み)

前田利長公が、産業振興のために鑄物師を呼び寄せ、住ませた高岡鑄物発祥の地です。「さまのこ」と呼ばれる千本格子の家並みと銅片の敷き込まれた石畳が美しいいたずまいを見せます。



山町筋 (土蔵造りの町並み)

商都高岡を支えた商人たちの町で、明治33(1900)年の大火以後、土蔵造りの家が作られました。高岡御車山を持つことから、「山町」と呼ばれます。



国宝 瑞龍寺

高岡の開祖前田利長公の菩提寺として、3代利常公が建立しました。典型的な禅宗建築の伽藍配置をもち、山門、仏殿、法堂が県内で唯一の国宝に指定されています。



近世高岡の文化遺産



高岡の宝を世界の宝に

近世高岡の文化遺産は高岡の歴史を物語る高岡城跡(高岡古城公園)や国宝瑞龍寺、勝興寺、前田利長墓所、山町筋、金屋町の基本資産6カ所と木舟城跡や守山城跡、八丁道、高岡大仏など関連資産16カ所の計22カ所で構成されます。城下町から商工業都市へ発展する近世都市の遺産が良好に保存されていることが特徴と言えます。「高岡の宝」が「世界の宝」になる日を夢みて、大切に守り育てていきます。

